



特別寄稿

蔵前技術士会の活動について

蔵前技術士会 会長

(山戸技術士事務所 代表)

山戸 佐知男



1. 蔵前技術士会（蔵技）とは

「[蔵前技術士会](#)」は「[東京工業大学](#)」の大学技術士会です。同大学の同窓会「[一般社団法人蔵前工業会](#)」の1組織として、約200名の会員から構成されています。1989年に発足し35周年を迎えます。「蔵前」は大学発足地に由来します。

「大学技術士会連絡協議会（大技連）」では、2008年の発起人7校の1校として参加させていただき、同会を通じて貴会には大変お世話になっています。この場をお借りし御礼申し上げます。

2. 蔵技の活動

当会の目的は「科学技術及び工業の発展（公益）」と「会員相互の親睦（共益）」の二つです。同窓会には「[蔵前理科教室ふしぎ・不思議（くらりか）](#)」「[蔵前ベンチャー相談室](#)」など他の活動組織があり、その中で、蔵技は「技術者」にフォーカスした活動を行っています。

表1に主な2023年度活動実績を示します。ほとんどは非会員のご参加も可能で、貴会員にもご参加をいただいています。

課題は学生向けの情報発信です。同窓会の組織である蔵技は大学の教育研究に直接関わることはできません。顧問の先生を通して様々な試みを行っていますが、大技連の他校と比較すると限定的です。その一つの事例として、**図1**に学生向けに配布したフライア例を示します。

表1 主な2023年度活動実績

実施日・場所	名称	(講演) テーマなど
5月13日 蔵前会館・Web	第199回例会 総会・講演会	東工大のD&Iの取組み
6月10日 蔵前会館・Web	蔵前技術講座	技術者の倫理 品質管理と技術者倫理
7月8日 蔵前会館・Web	第200回例会・ 講演会	空調ヒートポンプ技術 液体金属 新たな可能性
8月26日 蔵前会館・Web	第9回技術士研究会	技術士が行う教育活動
10月14日	第46回科学技術 セミナー	ちょっと難しいけれどとても面白い情報 理工学の世界
11月1日 川口市	第201回例会・ 見学会	スーパーサイエンス ハイスクールの見学
12月9日 蔵前会館・Web	第202回例会・ ミニトーク	7名のミニプレゼン (各15分)
2月17日 蔵前会館・Web	第203回例会・ 講演会	空気圧の基礎と応用 水道水で物を動かす
通年活動		
・ PLATT (技術の無料相談)		
・ 大学連携活動: 技術士制度紹介、テスト問題バンク支援等		
・ 連携: 大学技術士会連絡協議会、企業内技術士交流会等		

一般社団法人 蔵前工業会・蔵前技術士会から学生の皆さんへ

技術者の能力証明 「技術士試験」を受けましょう

就職活動・今後の技術者キャリアパス
あなたにとって様々なプラスがあります

東工大を卒業したら
二つのエキスパートの道があります

博士
科学の
エキスパート

技術士
技術の
エキスパート

↑ ↑

東京工業大学

技術士は、技術者倫理を備え
科学技術の高度な知識と
应用能力が認められた技術者の
「国家資格」です

21の技術分野があります

蔵前工業会・蔵前技術士会は「技術士（国家資格）」を
核とした技術者コミュニティです
気軽にご相談ください

info-desk@krpe.net
https://www.kuramae.ne.jp/krpe/
https://www.facebook.com/krpe.page

図 1 学生向けフライア例

主催 一般社団法人 蔵前工業会
共催 国立大学法人 東京工業大学

第46回蔵前科学技術セミナー

ちょっと難しいけれどとても面白い
情報工学の世界
～東工大若手研究者による先端研究～

蔵前工業会は東京工業大学との共催により、時宜に選んだ技術テーマを管線と考える「蔵前科学技術セミナー」を、毎年開催しています
今回は、管線注目の「東工大若手研究者による情報理工学先端研究」を取り上げます
コーディネーターの山村先生（東工大情報理工学院教授）は次のように述べられています

現代情報理工学の急速な進展は、
社会に大きな変革をもたらしています
東工大情報理工学院の若手教員を集め、彼らが現在何を見て、
これから何をしようとしているのかを通じて、
来るべき次の波を大胆に予想します

日時 2023年10月14日(土)
受付開始 12:30
講演会 13:00～17:15(無料)
交流会 17:15～18:15(3,000円、学生は無料)

会場 東工大蔵前会館(六甲山駅前) 会場受付時に現金払い
講演会のみZoom Webinarによるオンライン配信

講演

「実験数学」
東工大情報理工学院講師 土岡俊介

「スパース計測データ解析
～真の情報を明らかにするオッカムの剃刀～」
東工大情報理工学院准教授 小野峻佑

「コヒーレントインジグマシンによる圧縮センシング」
東工大情報理工学院特定教授・東京大学教授 青西守

「AIが加速する創薬・生命科学」
東工大情報理工学院デュオトラック助教 大上雅史

申込 QRコードから申し込みください(締切 10/9)
https://www.kuramae.ne.jp/krpe/topics_detail29?id=6836

図 2 2023 年度蔵前科学技術セミナー

比較的大規模なものに、蔵前工業会主催、東京工業大学共催で毎秋開催される「時宜に適した技術テーマを考える“蔵前科学技術セミナー”」があります。蔵技はその幹事役として企画～運営に関わっており、昨年度は「東工大若手研究者による情報理工学の先端研究」を取り上げました。図 2 に、2023 年度蔵前科学技術セミナーのフライアを示します。

今秋（第 48 回）の開催は 2024 年 10 月 5 日です。10 月 1 日の東京工業大学と東京医科歯科大学との統合直後のイベントということもあり、テーマは「災害と医療（仮）」を予定しています。両大学の特長をわかりやすくお伝えできるよう、現在（5 月）両大学の先生方と企画を進めています。今年もまた多くのご参加をお待ちしています。

3. 今後の活動

当会員の技術部門別（総合技術監理を除く）構成比は、機械（22%）、電気電子（18%）、化学（15%）、その他（45%）です。専攻別の卒業生数の影響もあり、資格活用が進んでいる「建設」は 6%に過ぎません。そのような中、技術士の数を増やし資格の活用をどのように進めていくかが、もう一つの課題です。

同列に扱うには無理がありますが、東京医科歯科大学の学生が医師資格を取得するように、東京工業大学卒の技術者が技術士資格を取得するにはどのように支援すれば良いか、「東京科学大学」の技術士会として一度考える必要がありそうです。

文部科学省、日本技術士会等で、IPD（Initial Professional Development）制度の検討が進められる中、技術者の GA 履修から PC 獲得まで（図 3）を俯瞰できる組織として、大学技術士会の役割がより注目されるようになるかもしれません。

貴会とは公益・共益の両面で引き続き連携させていただきたいと思っております。今後もよろしくお願ひします。

（技術士 電気電子部門）



図 3 GA 履修から PC 獲得まで

京都大学技術士会 企画班の活動 ～講演会の開催実績について～

2013 年 3 月に発足し、今年で 12 年目となる京都大学技術士会では、会員の皆様の継続研鑽を目的として、様々な講演会を開催して参りました。ここでは、本会の活動の柱の 1 つであります講演会のこれまでの開催状況についてご紹介します。

本会が主催する講演会には、特別講演会と講演会（イブニングセミナー）の 2 つがあります。特別講演会は毎年 1 回、京都大学技術士会の活動状況を会員の皆様に報告する「大会」に合わせて開催しているものであります。大会・特別講演会は、隔年で東京と京都で交互に開催しており、東京では 9 月頃の土曜日に東京都内の会場で、また、京都では 11 月の第 1 土曜日に開催される京都大学のホームカミングデーに合わせて京都大学吉田キャンパス内で開催しています。本学出身の研究者・技術者による最新の研究に関する講演に加え、京都大学工学部の現況報告というようなトピックスに関する講演も行っております。

講演会は年 2 回程度、東京あるいは京都で開催しているもので、第一線で活躍しておられる京大

学出身の技術者・科学者の方を講師にお招きし、様々なテーマに関するご講演をいただいているものでありまして、これまでに 18 回の講演会を開催しました。コロナ禍以前は、東京都内の会場にてイブニングセミナーと称して水曜日の夜に講演会を開催しておりましたが、コロナ禍以降は、会場で行っている講演を Zoom や YouTube で同時に配信する会場・オンライン併用方式で開催いたしております。これにより、会場参加のみの時には東京や京都近郊の方しかご参加いただけなかった講演会が、現在では全国の会員の皆様にご参加いただけるようになり、講演会の参加者数も大きく増加しました。

また、これらの本会主催の講演会のほかにも、現在は休止中ですが、京都大学技術士会・大阪大学技術士会・東北大学技術士会の共催による三大学技術士会合同講演会も開催いたしました。

講演会の終了後には、会員相互の交流を目的として、講師の先生と会場でご参加いただいた皆様で懇親会を開催しております。懇親会は毎回盛況でして、会員の皆様の親睦を深めるよい機会となっております。

京都大学技術士会では、会員の皆様の継続研鑽を目的とした講演会、ならびに会員相互の交流を目的とした懇親会を、これからも開催して参りたいと考えておりますので、会員の皆様にはぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

第 30 回 技術士を目指そう 説明会開催

2024 年 4 月 19 日（金）、京都大学桂図書館において、京都大学技術士会 第 30 回「技術士を目指そう」説明会が開催され、現地参加はなしで 15 名の ZOOM 参加がありました。

辻浩樹副代表幹事補佐（工学研究科、1996 年修了、建設部門）の司会進行の下、最初に京都大学工学研究科教授の高橋良和副会長（工学研究科・1996 年修了）から開会挨拶があり、宮嶋直樹副代表幹事補佐（応用理学部門）から、京都大学技術士会の概要説明のあと、佐伯賢一副会長（工学研究科・1994 年修了、建設部門）から技術士制度の概要、資格の法的・社会的な位置づけ、求められる資質や能力、試験制度と受験資格についての説明がありました。

続いて「技術士による体験談」として、機械部門の山崎洋右幹事（工学研究科・1993 年修了）、建設・総合技術監理部門の岩住副代表幹事（工学部・1986 年卒）、森林部門・建設部門の仲矢順子幹事（農学研究科・1994 年修了）、の 3 名の先輩技術士により、それぞれの専門分野での個人的体験に基づいた説明が行われました。技術士を受検するに至った経緯や、技術士試験受験における苦労や学習のポイント、技術士取得の意義が紹介されました。

説明会に続いて、Zoom で 2 班にわかれて個別相談が開かれ、技術士受験の資格や、受験する部門に関する疑問点など、参加者から技術士保有者である会員に対して活発な質疑応答が交わされました。



高橋副会長による挨拶



宮嶋副代表幹事補佐による本会の説明



岩住副代表幹事による体験談

【講師募集】

本会会員で「技術士を目指そう」説明会の講師をお願いできる方を募集しております。特に資格保有者が少ない部門について歓迎します。

連絡先：office@ku-pe.net 標題を「説明会講師に応募」としてお送りください。

第 18 回講演会開催

2024 年 4 月 24 日に第 18 回講演会が東京丸の内の京都大学東京オフィスにて開催されました。

18 回目となる今回は、技術士資格を持つ弁護士としてご活躍されている弁護士法人 One Asia 大阪オフィス代表パートナーの江副哲様(工学研究科 1997 年修了)を講師にお招きして、「地盤にまつわる事故事例の法的分析と事故防止への提言 ～ 熱海土石流災害を教訓とした建設発生土に関する法的規制と実務上の課題 ～」という題目でご講演をいただきました。この講演会は、会場である京都大学東京オフィスからオンライン (Zoom、YouTube) でも配信され、会場とオンライン合わせて約 120 名の方の参加申込みがありました。

講演では、盛土や宅地造成において様々な原因で発生する地盤の沈下や土砂災害などの事故をテーマに、土地所有者、施工業者、行政等の法的責任について、令和 3 年に静岡県熱海市で発生した違法盛土による土砂災害など、過去の裁判事例も交えながらわかりやすくご説明いただくとともに、令和 5 年に施行された「宅地造成及び特定盛土等規制法」(通称、盛土規制法)についても解説していただきました。

そして、ご講演の最後に、地盤に関わる事故を防止するためには、地盤に携わる技術者が技術者倫理に基づきインフラの安全は技術者が担っていることを自覚することが大切であるとのお言葉がありました。京都大学技術士会主催の講演会で、法律をテーマとした講演は今回が初めてでしたが、工学と法学が見事に組み合わされた素晴らしい講演会となりました。

また、講演終了後、江副様には会場やオンラインの参加者からの質問にも丁寧にお答えいただきました。



江副 哲様



講演の様様



総監択一本の改訂版を出版！

令和 6 年 2 月 3 日より販売

近藤 一寿



総監択一試験に特化した本書では、文部科学省の公開資料分析、脳科学と生成 AI の最新知見に基づいた実践的な勉強法を紹介し、特に、過去問の戦略的利用、効率的な音読や反復学習、独自のノート作成技術などを詳しく説明し、効果的な試験対策を可能にします。第 2 版では、脳科学に基づく大人の学習法、ChatGPT などの生成 AI を利用した新キーワードの学習方法、五者択一問題へのアプローチ、そして総監の本質理解に関する内容を追加しました。初版を上回る学習の指針を提供し、みなさまの試験成功への貢献を目指しています。



www.amazon.co.jp/dp/B0CSYWGMRD

【1992 年工学部合成化学科卒 総合技術監理部門、建設部門、環境部門 日本エヌ・ユー・エス(株)】

新規会員の自己紹介

渡邊 泰也



1987 年に当時の建設省に入省し、その後国土交通省で主に河川分野を担当し、2019 年東北地方整備局副局長で退官し、その後(公財)河川情報センターに 3 年ほど勤務し、現在は飛鳥建設(株)に勤務しております。本会には、継続研鑽のため、昨年の春に入会させていただき、秋にはこの原稿の依頼をいただいていたのですが、私事で申し訳ございませんが脳梗塞で倒れて、左半身麻痺で入院しておりまして原稿を提出できませんでした。5 か月のリハビリ入院を経て、何とか普通の生活をおくれるまで回復しこの原稿を書いております。それまで人間ドックなどでも大きな指摘もなくマラソンをしたり登山をしたりしておりましたが、やはり人生、何が起るかわかりません、皆様も健康には気をつけてください。

【1987 年工学研究科修士課程修了(土木工学専攻)、建設部門、飛鳥建設株式会社審議役】

滝沢 健一



はじめまして。滝沢健一と申します。1974 年生まれの 49 歳です。

出身は兵庫県明石市(白陵高等学校卒)で、現在は、

東京で単身赴任生活をしております。家族は、京都市に住んでいます。

趣味は、旅行、寺社仏閣巡り、生き物観察です。京大（理）時代は、林民生先生の下で、有機化学を学んでおりました。

修士課程卒業後、三菱化学（現；三菱ケミカル）という会社に入社し、現在は、日本ポリケムという会社に出向しております。

京大の技術士会では、様々な分野の方々と交流させていただけますこと、楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

【1997 年（理学部）&1999 年（理学研究科）、化学部門、日本ポリケム株式会社】

長澤 英治



はじめまして、長澤英治と申します。2007 年に化学工学専攻環境プロセス工学講座(当時、前先生)に社会人博士課程でお世話になり、学位をとらせていただきました。専門分野は化学プロセス、特にマイクロ化学プロセス技術ですが、最近はプラント・工場の設備管理におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の具体化支援や技術者・研究者のキャリアアップ支援などの仕事を手掛けております。還暦を契機に長澤技術士事務所を立ち上げ、人と人との出会い、ご縁が広がれば良いと思い京都大学技術士会に入会させて頂きました。趣味は、写真、キャンプなどのアウトドア、そしてキャンプから発展した料理です。

どうぞ宜しくお願い致します。

【2007 年工学研究科博士課程修了、化学部門、横河ソリューションサービス株式会社／長澤技術士事務所】

前田 直英



こんにちは。前田直英と申します。大学卒業後、13 年程東京のメーカーに勤務した後、東レエンジニアリングに転職しました。その間ずっと機械設計に携わっておりましたが、縁あって品証部署の所属となり、その経験を生かして経営工学の技術士を取得しました。経営工学は品質管理や生産技術等を専門分野としておりますので、何かお役に立てればと考えております。また、経営工学は受験者数が少なく、参考書も少ないので、今後経営工学の技術士を目指す方のお手伝いできればとも考えております。よろしくお願いいたします。

【1993 年工学部工業化学科卒、経営工学部門、東レエンジニアリング株式会社】

香西 稔



こんにちは、香西と申します。昭和 63 年に大学院を修了後、土木技術者として、ゼネコンで 10 年、建設コンサルタントで 9 年、地方公務員で 17 年勤めてきました。昨年、還暦を迎えるにあたって、卒業試験のつもりで受験、総合技術管理部門を取得しました。この時、京都大学技術士会の存在を知り、入会しました。これからも土木技術を生かし、社会貢献できるよう努めていきたいと考えています。宜しくお願いします。

【1988 年工学研究科(土木工学専攻)修了、総合技術監理部門・建設部門・上下水道部門】

永持 達也



○職務経歴

H22 年度～：農林水産省（新潟県の排水機場、宮崎県のコンクリートダム、水力発電所、管理システム、農地中間管理機構、諫早湾干拓の訴訟関連の業務）※訴訟や法務に詳しい

R3 年度～：民間の研究所へ出向（ロボットとインフラに関する研究）

R5 年度～：内閣府地方創生推進事務局（交付金や給付金等の執行を担当）

○資格（技官）

第 3 種電気主任技術者、技術士（農業部門）、IT パスポート

○関心事項

地方創生×金融分野に注目しています

○趣味

農や食への興味から派生し、味覚や脳神経科学、ネットワーク科学などを調べるのが好き（SNS 分析などの社会計算科学会に所属）

【2010 年農学研究科（地域環境科学専攻）修了（専門は最適化、数値解析関係）、農業部門、内閣府地方創生推進事務局】

三木 健太郎



三木健太郎と申します。大学、大学院では森林科学を学んでいました。素材メーカーに入社後、化学プロセスについて学ぶ中で技術士を知り、2023 年度に化学部門-化学プロセスの二次試験に合格し

ました。今後は技術士登録を行い、研鑽を積んでいきたいと思っております。趣味は野球で投手をしています。よろしくお願いいたします。

【2017 年農学研究科修了、化学部門、信越化学工業株式会社】

松山 陸宏



はじめまして。松山陸宏と申します。97 年に大学院修了後、2001 年から住友ベークライト（株）で研究開発及び新規事業探索に従事しております。

大学を離れて四半世紀も経つと、過去に学んだ知識もあやふや、そろそろ学び直しが必要だなと考えていた頃に、技術士資格の存在を知り、挑戦することに。と言え聞こえが良いですが、学生時代はろくに勉強せず、社会人になって必要に迫られ勉強していた程度。ただ、この歳になり、自分が化学技術者であることを何らかの形で示したいとの思いから、睡眠時間を削って 2 年近く勉強を続け、資格取得に至りました。

今後は技術士会等での交流を通じ、技術者として人生全うすべく、引き続き精進する所存です。

【1997 年 工学研究科（高分子化学専攻）修了、化学部門、住友ベークライト株式会社】

山本 和人



1996 年に大阪大学工学部を卒業した後、国内メーカー 2 社（ガラス、電機）に勤務いたしました。2021 年技術士に登録後、2022 年に本学の経営管理

大学院に入学しました。本年 3 月の修了を機に、本会に入会いたしました。メーカー勤務時代には、製品開発、品質管理、技術営業、製造子会社の管理職、海外工場の立ち上げ、生産管理、プロジェクトマネジメント等、幅広い業務を経験しました。現在は個人事業主として独立し、主に中小メーカーの技術・経営支援に従事しております。今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【2024 年経営管理教育部修了（専門職学位課程）、経営工学部門、自営業】



越智 尊晴

はじめまして。この度、京都大学技術士会に入会させていただくことになりました、いであ株式会社の越智尊晴と申します。私はこれまで約 7 年間、河川計画・河道管理、土砂災害対策、災害発生予測・対応等の業務に携わってまいりました。近年は、地域の安全を自ら守るための流域治水の方策に関する業務を様々な関係者と協力しながら進めています。

普段は社内での業務が多いため、週末には市内に繰り出したり、川や山に出かけたりしてリフレッシュしています。

入会の抱負としては、技術士会の皆様と情報交換を行いながら技術の向上を図り、自身の専門分野でさらなる知識の深化を目指していきたいと思っております。

【2018 年工学研究科（社会基盤工学専攻）修了、建設部門、いであ株式会社】



大西 俊輔



はじめまして。大阪ガス（株）大西と申します。2001 年に大阪ガス入社後、エンジニアリング関連の部署にて、おもに LNG 受入基地・発電所の計画・建設等に従事してきました。

最近では、脱炭素社会の実現に向けた取り組みにも注力しています。

京都大学技術士会には、昨年末にご案内をいただき入会いたしました。

本会を通じて研鑽を積んでまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【2001 年工学研究科修了（土木システム工学専攻）、総合技術監理部門・建設部門、大阪ガス株式会社】



武藤 稔

昨年度、環境部門の 1 次試験に合格し、準会員として入会させていただきました武藤と申します。

2016 年に総合人間学部を卒業し、現在、環境事業計画株式会社という会社を運営しています。

会社は野生動物の調査をメインで行っているのですが、個体数推定のための技術や餌となる植生の調査、また法令関連など複雑なスキルが必要となるため技術士の受験を志しました。

まだ 1 次試験を通過したばかりで、技術士取得までの道のりは長いですが、日々精進いたしますので宜しくお願いいたします。

【2016 年 総合人間学部国際文明学系卒、環境部門（一次試験合格）、環境事業計画株式会社】

会員の自由投稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自由投稿を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

《自由投稿 執筆要領》

- ① 標題（概ね10文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に300文字程度）
- ③ 最終行【】内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真（JPEG形式）

《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

会員の皆様へ

1. 入会・登録情報変更方法

[京都大学技術士会ホームページ](#)から必要な情報をお送りください。最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、[ホームページ](#)からお願いします。

編集後記

11月のホームカミングデーに合わせた本会行事や出身研究室の会合などで年に2~3回京都に出かけておりますが、昨今大きな問題となっているオーバーツーリズムの影響は京大吉田キャンパス周辺ではあまり感じられません。関東からの日帰りもだんだん体力的に厳しく感じるようになってきて一泊することも多くなりましたが、概して料金が高騰している宿泊施設は、観光目的でなければ多少不便な立地でも「穴場」といえるような物件もあって、数か月前からそれを探すのがひそかな楽しみになっています。皆さんが押し掛けると困るので、それがどこであるかまでは明かせませんが（笑）

とはいえ、本部構内で観光客が写真を撮っているのをよく見かけますし、市バスは相変わらず混雑していますので、観光と市民生活との両立は解決の目途が遠い課題なのでしょう。

（今西 秀公 1993年工学研究科修了、建設部門・総合技術監理部門、前田建設工業株式会社）

